

経済学研究科 アジア地域経済専攻 博士後期課程

【教育目標】

アジア経済を理解するためには、アジアを取り巻く国際情勢を知っておく必要があります。また、国内の社会経済や、解析手段となる経済理論も知っておく必要があります。こうした幅広い視点に立ったアジア地域経済研究をおこなうことによって、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成することを目標にしています。

【ディプロマ・ポリシー】

博士の学位は、きわめて高度で、かつ独創性のきわめて高い研究を行った人にもみ授与されるものです。高度であることと独創性が高いことは、以下の三点によって担保されます。

1. 学位授与対象候補者自身が、研究業績を十分に積み重ねていること。
2. その研究業績においては先行研究の踏査が十分に行われていること。
3. そのうえで、新たな知見が提出されていること。

経済学研究科・アジア地域経済専攻博士後期課程では、上記の前提に立ち、カリキュラムに則って所定の単位を取得し、かつ必要な研究指導を継続して十分に受けた上、博士論文の審査を受け、その審査に合格した者に博士（経済学）の学位を授与します。学位を授与するかどうかを判断する基準は以下の通りです。

1. アジア地域経済を取り巻く問題について、多角的な視点で高度に、また論理的に考察を行うことができること。
2. 国内と国際社会で活躍できる高度な分析力と判断力を身につけていること。
3. 国内の社会経済や、解析手段となる経済理論についての高度な学識を身につけていること。
4. 専門分野において明確な研究テーマを設定し、先行研究を十分に踏査し、資料・データを適切に分析して独創的な研究論文を作成できること。

【カリキュラム・ポリシー】

経済学研究科博士後期課程では、教育理念に基づき、カリキュラムを編成します。アジア地域経済専攻では、アジア地域経済、日本経済、関西経済の関係を重視しつつ、アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を修得することによって、専門的視点をもって国内と国際社会で活躍できる高度な分析力と判断力を兼ね備えた人材を育成するという教育目標に基づき、以下のような教育課程を編成・実施します。

1. アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を身につけることができ、多彩な視点から創造的な研究ができるよう体系的な科目を提供する。
2. 各専門分野において明確な研究テーマについて、先行研究を詳細に考察し、資料・データを適正に分析して独創的な研究論文を作成することができるよう、指導教員が指導をおこなう。
3. 博士論文の作成にあたっては、指導教員とともに様々な分野の教員からも指導がおこなわれる。
4. 完成論文の発表をおこなう論文報告会が実施される。

【アドミッション・ポリシー】

急速な構造の変化を起こす現代社会において、国際的・アジア地域的観点のみならず、日本的観点、さらには関西的観点といった、多角的な観点をもって高度に経済を分析し、問題解決に取り組もうとする意欲ある学生に広く門戸を開いています。幅広い視点に立った多角的な「アジア地域経済研究」を行いたいという方々をもとめます。具体的には、以下のような方々の入学を希望します。

(求める学生像)

1. アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論について、博士前期課程の水準以上に高度にかつ深く学びたい方。
2. 大学院で、高度な分析力と判断力を身につけて、国内と国際社会で活躍したい方、および専門的職業でより一層活躍したい方。
3. 抽象化された水準まで経済学を深く高度に学びたい方。

高水準でありかつ独創性の高い研究を行い、その業績を国際社会における経済問題の解決に役立たせようとする方々、すなわち高度な専門研究能力を有するビジネスアナリストや研究職を育成することを、本専攻は目指します。そのために本専攻では、アジア地域経済、国際経済、企業戦略および経済理論についての高度な学識を教授します。

(選抜方法)

以下の項目を総合的に評価する。

1. 学力（外国語能力を含む） 20%
2. 修士論文の内容 40%
3. 面接（研究計画書に基づく） 40%

修士論文の内容から、論理的思考と論述の能力を評価した上で、面接において、自らの研究計画を具体的かつ詳細に説明する能力を評価する。

改 正 2021年4月28日